



〈支援方針〉

「非認知能力」を高める

子どもたちが安心できる環境で
自己肯定感、人や社会と関わる力
生活習慣など、将来の自立に向けて
ストレスに負けない生き抜く力を
育む。

児童発達支援 ポコアポコ 支援プログラム

〈法人(事業所)理念〉

～Dare to be different～ あえて違う者になれ

人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立
に向けて、家庭環境や発達の特性等様々な困難
に直面する子どもたちが「生きる力」を育み、安心
して過ごせる居場所を目指す。



〈営業時間〉

月曜日～金曜日

9:00 ~ 17:00

〈送迎の有無〉

あり

〈健康・生活〉

「自分でやってみよう」

安心できる大人との関わりの中で一日が始まります。

手洗い・身支度・排泄・食事などの基本的な生活習慣を丁寧に積み重ねながら自分でできることを少しずつ増やしていきます。

心と体の安定を大切に、元気に過ごすための土台を育てます。

〈運動・感覚〉

「からだで感じる楽しさ」

戸外あそびや室内活動を通して、体を動かす楽しさを味わいます。走る・跳ぶ・支えるなどの基本的な動きや五感を使った感覚遊びを取り入れながら、体幹やバランス感覚を育てます。

「動くって楽しい」という経験を重ねます。

〈言語・コミュニケーション〉

「伝わるってうれしいね」

言葉だけでなく、表情やしぐさも大切にしながら、やりとりを広げます。安心できる関係の中で、「伝わった」「わかってもらえた」という経験を重ねながら自己表現の力を育てます。

〈認知・行動〉

「やってみたい!の芽」

自分の気持ちに気づき、安心の中で少しずつ気持ちを整える力を育てます。活動の切り替えや気持ちの揺れを丁寧に支えながら、状況に合わせて行動できる力へとつなげていきます。



〈人間関係・社会性〉

「思いやりの心を育てる」

友だちや大人との関わりの中で、順番や簡単なルールを学びます。相手の気持ちに気づいたり、自分の思いを伝えたりしながら、やりとりの経験を積み重ねます。

安心できる愛着関係を基盤に、互いを認め合う気持ちを育てます。

〈家族支援〉

発達支援の様子等を連絡帳（保護者連絡ツール用アプリ「コドモン」の運用）や送迎時に伝え、定期的に面談を行い支援について共有しています。

本児が自分で考え、選択できるように一緒に具体的な方法を伝え、実践出来るようにしています。

〈移行支援〉

移行先（保育所や幼稚園、学校）へ活動の際のこどもとの関わりについてなど伝えてスムーズに移行できるよう連携をとっていきます。

高校卒業後の就労支援などの社会資源を活かして自立に向けて相談事業所とともにサポートを行います。



〈地域支援・地域連携〉

定期的または適宜に連携会議を開催し、情報収集・役割分担、具体的な場面でのこどもとの関わり方を話し合い、共有しています。

〈職員の質の向上〉

障害や幼児期の発達、障害児支援の技法や理論などについて定期的な職員研修や外部講師を招いたチームビルディングなどの研修を開催し、職員の支援スキル向上に繋げています。自己研鑽ができるよう資格取得の機会を提供しています。

〈主な行事等〉

- 野外活動わくわく探検隊（自然をテーマとして連休や長期休暇などを利用し宿泊・キャンプイベントを実施）
- お誕生日会 ○避難訓練 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス ○おもちつき ○節分 ○ひなまつり ○震災を忘れない
- 社会体験（図書室利用、お買い物体験、リサイクル活動、お泊り会）